

思川だより



令和5年11月22日 第86号

南摩ダム堤体盛立 概成！

南摩ダムの堤体盛立は、令和3年11月に開始して以来、1年9ヶ月を経て令和5年8月31日、ついに概成しました！

現在、南摩ダム堤体の上流側ではコンクリート表面遮水壁（フェイススラブ）の施工を本格的に進めています。

フェイススラブコンクリートは、南摩ダムの堤頂部の長さは約360mに対して、堤体の表面を24ブロックに分割して、幅15m毎に打設します。

6月中旬にはフェイススラブの一部であるスタータスラブ（※）の施工に着手し、11月初旬からはメインスラブの施工を進めています。

メインスラブは、写真に示すスリップフォームというレール付鋼製型枠を上部に引き上げながら堤体頂部までコンクリートを連続して打設します。

スリップフォームを概ね1時間に2mの早さで引き上げて、水平の継目を作らずにコンクリートを連続して打設していくため、コンクリートの1回の打設時間は最長で約84時間（4日間）となります！

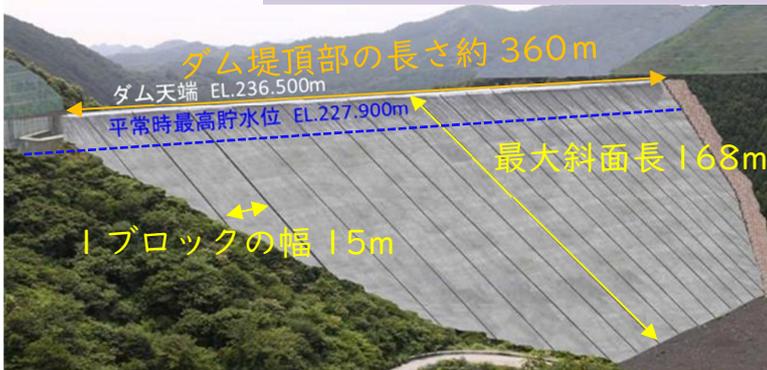
※【スタータスラブ】

→フェイススラブのうち、メインスラブ打設に用いるスリップフォーム据付けのため、先行して打設する部分。

南摩ダム全景(2023年9月5日ダム上流側から撮影)



コンクリート表面遮水壁完成予想図



フェイススラブ施工状況(2023年11月9日撮影)



また、ダム下流側の工事も進捗しております！

洪水時にダムに流入する水量を安全に流下させる施設である洪水吐きは、ようやく概形が見えてきました。利水補給を行う放流管およびゲートの設置、管理用発電設備基礎等についても工事が進んでおり、今後も安全に留意しながら、工事を進めてまいります。

フェイススラブの施工状況はダム上流側の展望台（9:00～16:30、16:00（12月～2月）まで）からもご覧頂けます。南摩ダムへ是非お越しください！



ダムの豆知識 22

<周辺継目>

プリンスとフェイススラブをつなぐよう設けられる継目を“周辺継目”と呼びます。この周辺継目において、ダムに水を貯めても、プリンスとフェイススラブの間から水が漏れないよう、ダムの遮水性を維持する必要があります。

プリンスは岩盤に固定されていますが、フェイススラブはダムのフィル堤体に接するように敷かれているため、フィル堤体の変形に応じて動きます。そこで、周辺継目は、プリンスとフェイススラブがお互いに異なる動きをしても遮水構造を維持する必要があります。

このように、ダムの貯水池の水面下にありつつも、プリンスとフェイススラブの間から水が漏れないよう十分な遮水性能を維持しなければならない点で、周辺継目の構造は重要な意味を持っています。

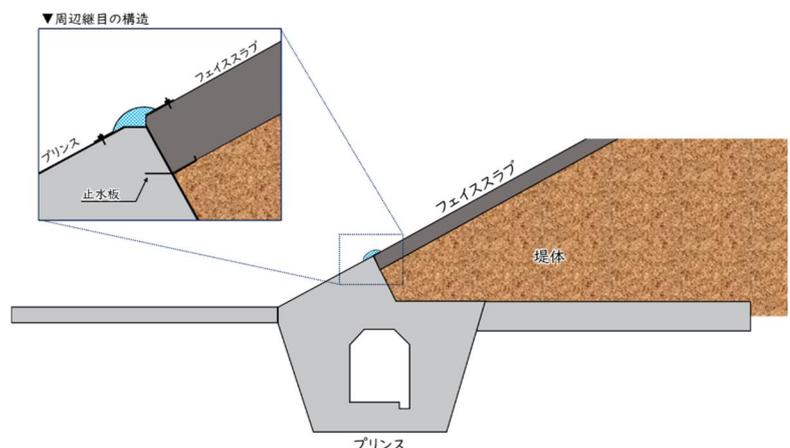


図1 周辺継目構造のイメージ図

南摩ダムカレー等選手権を開催しました！！

8月に思川開発建設所職員による南摩ダムカレー等選手権を開催し、それぞれ職員が本気の「南摩ダムカレー」を作ってみましたので紹介します。

今回の選手権では、順位賞やユニーク賞を設定し、入賞を目指して激しい戦いが繰り広げられました。

ダム近隣の飲食店の皆様、メニューに南摩ダムカレーを加えてはいかがでしょうか。

また、ダムカレーについて興味がある方やいいアイデアがありましたら、思川開発建設所（0289）—85—1110までご連絡ください。

全19作品のうち、人気だった4作品です。



1位

南摩ダムの特徴であるCFRDを薄焼き卵、ロックフィルの岩石をドライカレーで表現しました。



2位

薄焼き卵とカレーで南摩ダムを表現。下流面は放流管をイメージしたハム巻を盛付しました。



3位

カレーをダム湖、のりをAS乳剤、チーズをフェイススラブとみたてで作成しました。



ユニーク賞

清流の美しい湖をブルーカレーで表現。ロックフィルムを表現するため、竹炭をとかした水で白米を炊きました。



授賞式の様子

第13回上南摩そば祭りが開催されました！

令和5年11月19日（日）、鹿沼市上南摩町自治公民会にて、「上南摩そば祭り」が4年ぶりに開催されました。今年で13回目を迎えるこのお祭りは、上南摩町自治会が主催し、上南摩産のそば粉を使用した新そばの食事提供、なんまん焼きやわたあめの販売等が行われました。特に地元のそば打ち名人たちによる「三たてそば」ならぬ「四たてそば」（収穫したて、挽きたて、打ちたて、茹でたて）の新そば提供には大行列ができ、来場者の方々のとても満足そうな表情をうかがうことが出来ました。更に、今年には地元のテレビ局からの撮影も行われ、久しぶりの開催にも関わらず、まさしく大盛況の中での開催となりました。

また、（企）上南摩そばネットワークでは、来年から水源地域振興拠点施設内にてそば店舗「竜がい」をオープンされる予定であり、今からオープンが待ち遠しいところです。



新そば待ちの長蛇の列

『鹿沼の秋再び～26の屋台一斉「きりん」～秋まつり』

本コーナー、久しぶり(前回第82号)の登場です。

今回は「再」繋がり「やっと鹿沼に秋が来た」ということで10月7日(土)・8日(日)に行われた「鹿沼秋まつり(今宮神社例大祭)」の紹介です。今年は26台の絢爛豪華な「彫刻屋台」(標準的の大きさは幅約3メートル、高さで長さが約3.6メートル)が揃いました。

屋台を一斉に方向転換させる「きりん」や屋台が市の中心部を回る「揃い曳き」などが行われ、市制75周年の祝いとともに一大祭典として盛大に執り行われました。

「鹿沼秋まつり」の歴史は古く、江戸時代の四百年前に遡り当時の民の暮らしの中での雨乞い祈願に由来されるとしてきました。以来、紆余曲折を経ながらも現代に受け継がれてきました。このことは、祭が「市民の生活から生まれ 市民の生活に根づき 市民の心を育てた祭り」(ガイドブックP3の言葉より)そのものです。また、この秋まつりは、国指定の文化財であり、ユネスコ無形文化遺産に国内の33の祭とともに登録されています。

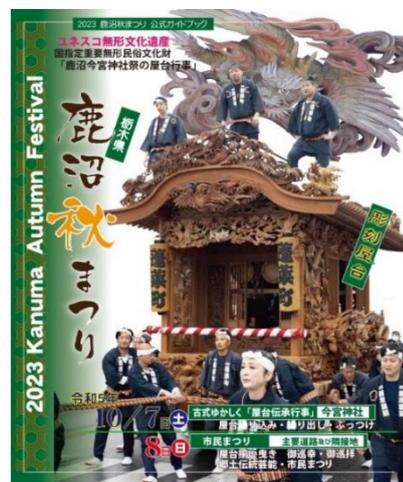
◎「彫刻屋台」の種類や構造、パーツや行事の詳細な解説、写真などは、鹿沼市ホームページの公式ガイドブックを参照願います。

右記 QR コード又は、下記 URL よりご覧ください。

URL⇒<https://www.city.kanuma.tochigi.jp/0281/info-0000009144-1.html>



前夜祭(今宮神社)



編集後記

○11月18日に第69回鹿沼市駅伝競走大会が開催され、思川開発建設所から1チーム参加させていただきました。

○今年も残すところあと1カ月余りとなりました。これからより一層寒い時期となりますので、皆様お身体に気を付けてお過ごしください。



参加メンバー(鹿沼運動公園)



ゴールの瞬間

お知らせ

▼見学会の実施や工事状況等の詳細については、お電話またはHPをご覧ください！

▼「思川だより」に関するご意見・ご要望を募集しています！お気軽に下記連絡先までお寄せ下さい！

編集・発行



独立行政法人水資源機構 思川開発建設所

〒322-0305 栃木県鹿沼市口栗野 839-2

Te l (0289) 85-1110 Fa x (0289) 85-1211

<https://www.water.go.jp/kanto/omoigawa/>

思川開発

検索



HP



X

(旧 Twitter)